

2026年度 シラバス(授業内容)

昼間部 2年 鉄道科 鉄道・交通サービスコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目:人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目:各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2026年度昼間部2年 鉄道科 鉄道・交通サービスコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	4	3	2	3	12
	専門科目	13	15	15	12	55
合計		17	18	17	15	67

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

2025年度入学生 鉄道科 鉄道・交通サービスコース 履修科目・単位一覧(前期13週・後期13週)																	
	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期				
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	
共通科目	キャリアデザインⅠ	演	1	26	キャリアデザインⅡ	演	1	26					ビジネスコミュニケーションⅡ	演	1	26	
	ビジネスコミュニケーションⅠ	演	1	26										デジタルスキルⅣ	演	1	26
	デジタルスキルⅠ	演	1	26	デジタルスキルⅡ	演	1	26	デジタルスキルⅢ	演	1	26	デジタルスキルⅣ	演	1	26	
	Let's Speak EnglishⅠ	演	1	26	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	26	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	26	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	26	
	小計		4	104	小計		3	78	小計		2	52	小計		3	78	
必修科目	鉄道業務実務Ⅰ	演	2	52	鉄道業務実務Ⅱ	演	2	52	鉄道業務実務Ⅲ	演	3	78	鉄道業務実務Ⅳ	演	3	78	
	国内観光資源Ⅰ	講	2	52	国内観光資源Ⅱ	講	2	52	国内観光資源Ⅲ	講	1	26	国内観光資源Ⅳ	講	1	26	
	SNSプロモーションⅠ	講	1	26	SNSプロモーションⅡ	講	1	26	SNSプロモーションⅢ	講	1	26	SNSプロモーションⅣ	講	1	26	
	時刻表実務Ⅰ	講	1	26	時刻表実務Ⅱ	講	1	26	時刻表実務Ⅲ	講	1	26	鉄旅(SPT)	演	1	26	
	旅行業法・旅行業約款Ⅰ	講	1	26	旅行業法・旅行業約款Ⅱ	講	1	26	旅行業法・旅行業約款Ⅲ	講	2	52					
	自己表現Ⅰ	演	1	26	自己表現Ⅱ	演	1	26	鉄道業界研究Ⅰ	講	1	26	鉄道業界研究Ⅱ	講	1	26	
	JR運賃・料金Ⅰ	講	1	26	JR運賃・料金Ⅱ	講	1	26	JR運賃・料金Ⅲ	講	1	26					
	国内旅行実務Ⅰ	講	1	26	鉄道受験対策	講	2	52	国内旅行実務Ⅱ	講	1	26					
	観光業界ガイドⅠ	講	1	26	観光業界ガイドⅡ	講	1	26	Station EnglishⅠ	演	1	26	Station EnglishⅡ	演	1	26	
	バリアフリー	演	1	26	鉄道の技術と仕組み	講	2	52	エクササイズⅠ	演	1	26	エクササイズⅡ	演	2	52	
	サービス接遇	講	1	26	ホスピタリティ	演	1	26	社会人教養Ⅰ	講	1	26	社会人教養Ⅱ	講	1	26	
									手話講座Ⅰ	演	1	26	手話講座Ⅱ	演	1	26	
		小計		13	338	小計		15	390	小計		15	390	小計		12	312
計	1年前期 合計		17	442	1年後期 合計		18	468	2年前期 合計		17	442	2年後期 合計		15	390	
	1年 合計				2年 合計				2年 合計				2年 合計				
	1年 合計				2年 合計				2年 合計				2年 合計				
2年間 総合計																	
行事・研修	オリエンテーション スポーツ大会				就職ガイダンス 選考対策セミナーⅠ・Ⅱ 中村学園祭 業界視察 観光地研修				オリエンテーション スポーツ大会				中村学園祭 SPT				

共通科目

25年度シラバス（授業計画）

科目名	デジタルスキルⅢ・Ⅳ			科目区分	共通科目
対象	全学科			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです 基礎的なPC操作を理解するとともに、Word Excelの基本操作を修得します				
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word Excelを使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・「30時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版) ・USBメモリ 				
授業計画	1 power point 基礎,等	1 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	2 power point 基礎,等	2 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	3 power point 基礎,等	3 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	4 power point 基礎,等	4 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	5 power point 基礎,等	5 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	6 power point 基礎,等	6 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	7 power point 基礎,等	7 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	8 power point 基礎,等	8 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	9 power point 基礎,等	9 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	10 power point 基礎,等	10 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	11 power point 基礎,等	11 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	12 テスト前予習	12 テスト前予習			
	13 テスト返却,確認	13 テスト返却,確認			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	Let's Speak English III・IV			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：Native teacher				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	1 Talking about a place		1 Talking about quantities		
	2 Asking for and giving suggestions		2 Talking about needs		
	3 Talking about locations		3 Talking about what you eat & healthy eating habits		
	4 Asking for & giving directions		4 Asking about & describing food		
	5 Review for test		5 Review for test		
	6 Speaking test 1		6 Speaking test 1		
	7 Asking about & giving prices		7 Talking about past events		
	8 Bargaining for a lower price		8 Asking about past events		
	9 Talking about frequency		9 Introducing news & reacting to news		
	10 Describing features		10 Talking about future plans		
	11 Review for test		11 Review for test		
	12 Speaking test 2		12 Speaking test 2		
	13 Review		13 Review		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ		科目区分	共通科目
対象	全学科 全コース		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	講師名：担当講師			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>	実務経験内容：		
授業概要	観光ビジネス業界にふさわしいマナーや必要知識を身に付けること。 ビジネスマナーを基にロールプレイを交えた内容で学ぶ。			
到達目標	新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を習得し、体現できること。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社（1年次購入済み）			
授業計画	1 年金・税・保険の知識			
	2 組織（役職）と部門について			
	3 慶弔に関する知識とマナー			
	4 領収書の記入方法			
	5 その他ビジネス用語			
	6 アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換			
	7 上座・下座			
	8 企業訪問 実践ロールプレイ			
	9 電話の受け方と取り次ぎ方、メモの残し方			
	10 電話応対 実践ロールプレイ			
	11 上手な聞き方、話し方			
	12 命令・指示、忠告・注意の受け方			
	13 まとめと振り返り			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

鉄道・交通サービスコース

専門科目

26年度シラバス（授業計画）

科目名	鉄道業務実務Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：3単位 後期：3単位	時間数	前期：78時間 後期：78時間
担当	講師名：響 丈				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	実務経験内容：京王電鉄にて11年勤務			
授業概要	1年次で学んだ実務の基本に加え、異常時の対応や運転など、より実践的なロールプレイングをすることにより、鉄道業界で働くということを感じます。また、鉄道業界で働くうえで必要な考え方や、行動力を身につけます。				
到達目標	日常的な作業をこなすだけでなく、その時の最適解を導き出し行動できる人材になる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	プリントを配布				
授業計画	1 異常時の対応方法	1 動力車操縦者試験について			
	2 駅務・車掌乗務実践訓練1	2 線見・基本的な運転と基本制動			
	3 駅務・車掌乗務実践訓練2	3 運転シミュレータ訓練1			
	4 駅務・車掌乗務実践訓練3	4 運転シミュレータ訓練2			
	5 駅務・車掌乗務実践訓練4	5 運転シミュレータ訓練3			
	6 駅務・車掌乗務実践訓練5	6 運転シミュレータ訓練4			
	7 駅務・車掌乗務実践訓練6	7 運転シミュレータ訓練5			
	8 駅務・車掌乗務実践訓練7	8 運転シミュレータ訓練6			
	9 駅務・車掌乗務実践訓練8	9 運転シミュレータ訓練7			
	10 駅務・車掌乗務実践訓練9	10 運転シミュレータ訓練8			
	11 駅務・車掌乗務実践訓練10	11 運転シミュレータ訓練9・みきわめ			
	12 実技試験	12 実技試験			
	13 テスト返却	13 テスト返却			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	国内観光資源Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース / 鉄道科 鉄道・交通サービスコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：松川 信也			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：現役旅行添乗員。旅行コンサルティング会社経営。 総合旅行業務取扱管理者		
授業概要	1年次に学習した日本全国の観光資源に関する知識を更に深め、国内旅行の実務を行う上での必要知識を高めながら、「観光を楽しむ」手段としての地理も学ぶ。			
到達目標	1.国内旅行の実務上必要となる「温泉」の知識を中心に、主要な観光資源の内容を説明できる。 2.「観光を楽しむ」手段としての「駅弁」「日本神話」「パワースポット」を説明できる。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：国内旅行業務取扱管理者 世界遺産検定			
教科書 教材	「国内観光資源」(JTB 総研) -1年次に使用したもの 「旅に出たくなる地図・日本」(帝国書院) -1年次に使用したもの			
授業計画	1 2026 国内旅行の主要動向	1 日本の主要「駅弁」(1) - 駅弁の歴史		
	2 日本の温泉地(1) - 九州	2 日本の主要「駅弁」(2) - 東日本		
	3 日本の温泉地(2) - 中国・四国	3 日本の主要「駅弁」(3) - 西日本		
	4 日本の温泉地(3) - 近畿	4 日本の主要「駅弁」(4) - まとめ		
	5 日本の温泉地(4) - 中部地方	5 日本神話の舞台(1) - 「国生み」		
	6 日本の温泉地(5) - 関東	6 日本神話の舞台(2) - 「天岩戸」		
	7 日本の温泉地(6) - 東北	7 日本神話の舞台(3) - 「八俣のオロチ」		
	8 日本の温泉地(7) - 北海道	8 日本神話の舞台(4) - 「因幡の白ウサギ」		
	9 インバウンドの好む温泉(1)	9 日本神話の舞台(5) - 「天孫降臨」		
	10 インバウンドの好む温泉(2)	10 日本のパワースポット(1)「武運」		
	11 観光資源個別テーマ(1) 日本の空港	11 日本のパワースポット(2)「金運」		
	12 観光資源個別テーマ(2) 食文化	12 日本のパワースポット(3)「縁結び」		
	13 観光資源個別テーマ(2) 京都の魅力	13 日本のパワースポット(4) まとめ		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、出席率80%以上、平常点 優 B：評価試験60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	SNS プロモーションⅢ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科・観光科・鉄道科			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：響 丈				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	Youtube チャンネル運営。登録者 14,000 人 X フォロワー 5,300 人			
授業概要	SNS を活用し、観光プロモーションの創り出し方を学ぶ。主に Youtube や X を実際に運用しながら、効果的なプロモーションについて実践的な経験を習得する。各 SNS の運用をはじめ、プロモーション全体として戦略的なアプローチ方法を学ぶ。				
到達目標	基本的な Instagram の運用ができるようになる。プロモーションの意味を理解し、その手段として SNS を使うことができる。SNS を使った効果的なプロモーションを企画運用できる。SNS ごとの特徴を活かし、総合的にプロモーションできるようになる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ <input type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：				
教科書 教材	なし（適宜、資料を用意します）				
授業計画	1 Instagram とは	1 X を使った広告①			
	2 アカウントの作り方～基本機能	2 Youtube を使った広告②			
	3 デザインの重要性	3 プロフィールの役割			
	4 デザインの基本	4 ショート動画作成①			
	5 写真の撮り方①	5 ショート動画作成②			
	6 写真の撮り方②	6 動画作成の仕方			
	7 掲載文の作り方	7 動画作成①			
	8 ハッシュタグ、キャッチコピー	8 動画作成②			
	9 サムネイルの作り方	9 SNS 連携プロモーション①			
	10 効果的な連続投稿	10 SNS 連携プロモーション②			
	11 人の目につく投稿とは	11 リスク管理①			
	12 まとめ①	12 リスク管理②			
	13 まとめ②	13 まとめ			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	時刻表実務Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：中山 健也				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	実務経験内容：鉄道会社にて駅員、乗務員経験あり			
授業概要	旅行・鉄道に関連する業務に従事するものにとって必要不可欠な時刻表の基本的な使用方法を習得していきます。初めて時刻表に触れる学生が多いと思いますが、初めて学習する学生が理解できるように、基礎的な問題から順序立てて、進めていきます。				
到達目標	・業界で必要とされる時刻表実務能力の習得を最終目標とする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：国内旅行業務取扱管理者				
教科書 教材					
授業計画	1 1年時の振り返り、ダイヤ改正情報まとめ（小テスト①）				
	2 乗継早見表と運賃料金早見表（自由席・グリーン）				
	3 総合演習問題（区間外乗車）				
	4 総合演習問題（団体割引）				
	5 総合演習問題（特定都区市内制度）（小テスト②）				
	6 乗継早見表と運賃料金早見表（新幹線と在来線）①				
	7 乗継早見表と運賃料金早見表（新幹線と在来線）②				
	8 乗継早見表と運賃料金早見表（自由席・グリーン車）				
	9 乗継早見表と運賃料金早見表（通過連絡運輸）（小テスト③）				
	10 総合演習問題（JR・バス・航空機複合）①				
	11 総合演習問題（JR・バス・航空機複合）②				
	12 期末試験				
	13 期末試験返却/振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：授業理解度 30%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：授業理解度 30%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	旅行業法・旅行業約款Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース/鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：2単位	時間数	前期：52時間
担当	講師名：磯貝 妃香				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	実務経験内容：旅行業界にて旅程管理実務経験あり。			
授業概要	1年次から引き続き旅行業法と約款の知識を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	任意 名称：国内旅行業務取扱管理者試験				
教科書教材	「旅行業法」「旅行業約款」（JTB総研） ※1年次に購入済み 適宜、過去問題プリント				
授業計画	1 業法①（過去項目復習①）				1 約款①（過去項目復習①）
	2 業法②（過去項目復習②）				2 約款②（過去項目復習②）
	3 業法③（過去項目復習③）				3 約款③（過去項目復習③）
	4 業法④（小テスト、受託契約、代理業者）				4 約款④（小テスト、契約の締結、解除）
	5 業法⑤（過去問の解きなおし&解説①）				5 約款⑤（過去問の解きなおし&解説①）
	6 業法⑥（過去問の解きなおし&解説②）				6 約款⑥（過去問の解きなおし&解説②）
	7 業法⑦（過去問の解きなおし&解説③）				7 約款⑦（過去問の解きなおし&解説③）
	8 業法⑧（過去問の解きなおし&解説④）				8 約款⑧（過去問の解きなおし&解説④）
	9 業法⑨（小テスト、旅行業協会、サービス手配業）				9 約款⑨（小テスト、契約の締結・変更・解除）
	10 業法⑩（過去模試実施、解答&解説①）				10 約款⑩（過去模試実施、解答&解説①）
	11 業法⑪（過去模試実施、解答&解説②）				11 業法⑪（過去模試実施、解答&解説②）
	12 業法⑫（過去模試実施、解答&解説③）				12 業法⑫（過去模試実施、解答&解説③）
	13 期末テスト&解答、解説				13 期末テスト&解答、解説
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	鉄道業界研究Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：響 丈				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	実務経験内容：京王電鉄にて11年勤務			
授業概要	鉄道業界について更なる知識を深め、また学んだ知識を活かして実践し、社会に出る前に経験を積む。				
到達目標	鉄道業界で働くための心構えを行い、実践して学んだことを将来に活かせる人材になる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	適宜プリントを配布				
授業計画	1 鉄道業界が求める人材の現状と今後1	1 千葉都市モノレールまつりの出展準備3			
	2 鉄道業界が求める人材の現状と今後2	2 千葉都市モノレールまつりの出展準備4			
	3 鉄道を利用したツアーを考案する1	3 千葉都市モノレールまつりの出展準備5			
	4 鉄道を利用したツアーを考案する2	4 千葉都市モノレールまつりの出展準備6			
	5 鉄道を利用したツアーを考案する3	5 千葉都市モノレールまつりの反省とまとめ			
	6 鉄道を利用したツアーを考案する 校内発表1	6 鉄道廃品を使用した商品開発1			
	7 鉄道を利用したツアーを考案する4	7 鉄道廃品を使用した商品開発2			
	8 鉄道を利用したツアーを考案する5	8 鉄道廃品を使用した商品開発3			
	9 鉄道を利用したツアーを考案する6	9 鉄道廃品を使用した商品開発4			
	10 鉄道を利用したツアーを考案 校内発表2	10 鉄道廃品を使用した商品開発5			
	11 鉄道を利用したツアーを考案する まとめ	11 鉄道廃品を使用した商品開発6			
	12 千葉都市モノレールまつりの出展準備1	12 鉄道廃品を使用した商品開発7			
	13 千葉都市モノレールまつりの出展準備2	13 まとめ			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率70%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	JR 運賃・料金Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：中山 健也				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	実務経験内容：鉄道会社にて駅員、乗務員経験あり			
授業概要	JRの運賃料金システムについて、実務者として必要な知識・技術を身に付けるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国内旅行業務取扱管理者試験の合格 ・業界で必要とされる実務能力の習得 				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：国内旅行業務取扱管理者				
教科書 教材					
授業計画	1 1年時の振り返り（小テスト①）				
	2 JR 営業規則①				
	3 JR 営業規則②				
	4 JR 営業規則③（小テスト②）				
	5 JR 運賃演習問題①（幹線と地方交通線、通過連絡運輸の複合問題）				
	6 JR 運賃演習問題②（特定都区市内制度、学生割引、往復割引の複合問題）（小テスト③）				
	7 JR 料金演習問題①（在来線特急料金の計算）				
	8 JR 料金演習問題②（新幹線の計算）				
	9 JR 料金演習問題③（新幹線の計算）（小テスト③）				
	10 過去問による演習①				
	11 過去問による演習②				
	12 期末試験				
	13 期末試験返却/振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：授業理解度 30%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：授業理解度 30%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	国内旅行実務II			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：中山健也				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>	実務経験内容：			
授業概要	JR・貸切バス・フェリー運送・宿泊機関の運賃料金のシステムについて、実務者として必要な知識・技術を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：国内旅行業務取扱管理者				
教科書 教材					
授業計画	1 宿泊料金について				
	2 宿泊料金について				
	3 宿泊料金について（小テスト①）				
	4 貸切バスについて				
	5 貸切バスについて（小テスト②）				
	6 フェリーについて（小テスト③）				
	7 航空運賃について				
	8 航空運賃について				
	9 航空運賃について（小テスト④）				
	10 過去問題にて演習				
	11 過去問題にて演習				
	12 期末試験				
	13 期末試験返却/振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス (授業計画)

科目名	Station English I・II			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1単位 後期 : 1単位	時間数	前期 : 26時間 後期 : 26時間
担当	講師名 : Robert Endo-McCabe				
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容 :			
授業概要	To develop students English skills for railway related situations and build confidence in communicating with native English speakers.				
到達目標	To allow students to practice relevant conversation for the railway industry.				
検定資格	なし・必修・任意 名称 :				
教科書 教材	Station English (original text)				
授業計画	1 Tickets and prices		1 Greeting customers and the JR Pass		
	2 Station facilities		2 Months and time		
	3 Giving train information		3 Seat availability and ticket sales		
	4 Directions for train stops		4 Methods of payment		
	5 Discussing length of time		5 Digital payment		
	6 Departure times		6 Recommending places to visit		
	7 Making suggestions		7 Discussion popularity		
	8 Getting to the right platform		8 Discussing modes of transport and distance		
	9 Giving and confirming destinations		9 Recommending activities		
	10 Delays information and reasons		10 Talking about Mt Fuji		
	11 Giving Street directions (spoken test)		11 Discussing souvenirs		
	12 Discussing ticket validity and explaining tickets		12 Recommending places to shop/visit		
	13 Lost tickets and fare rules		13 Talking about Japanese etiquette		
成績評価 方法	出席状況・評価試験・授業参加意欲を総合的に評価する				
成績評価 基準	A : 評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B : 評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C : 評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D : 評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	エクササイズⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：2単位	時間数 前期：26時間 後期：52時間
担当	講師名：上村海音			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：一般社団法人ダンス振興連盟JDAC 認定ダンス指導員		
授業概要	エクササイズを通して、安全で効果的なトレーニング方法を学び、全身の筋力、柔軟性、持久力を高め総合的な体力向上を目指す授業。			
到達目標	シアターゲーム等を通して身体を動かすことに親しみを持ち、運動意欲を高める。自分自身の身体の特徴を理解し、それに合った適正なケア方法を身に着ける。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ <input type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：			
教科書 教材				
授業計画	1 柔軟性、筋力の計測	1 柔軟性、筋力の計測		
	2 ウォーミングアップ、ストレッチ、クールダウンの習得	2 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計①		
	3 エクササイズトレーニング①	3 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計②		
	4 エクササイズトレーニング②	4 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計③		
	5 小テスト	5 小テスト		
	6 エクササイズトレーニング③	6 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計④		
	7 エクササイズトレーニング④	7 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計⑤		
	8 エクササイズトレーニング⑤	8 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計⑥		
	9 小テスト	9 小テスト		
	10 エクササイズトレーニング⑥	10 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計⑦		
	11 エクササイズトレーニング⑦	11 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計⑧		
	12 エクササイズトレーニング⑧	12 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計⑨		
	13 小テスト	13 小テスト		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく ※平常点の評価には、授業参加態度も含まれます。			
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	社会人教養Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース/鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：石神 直人 他				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	グローバル化や日本社会の変化に伴う人々の意識や価値観の変化も関係している中で、本講座では、時事問題解説ではなく、様々な分野をについて教養を深める講座を目指します。内容は経済、地域社会などと多岐にわたりますが、いずれも今後の社会人生活や世界を視野に入れるうえで重要な視点となります。				
到達目標	卒業後の社会人生活における問題点などがあつた場合、自主的に解決もしくは相談できるような知識を持ち、より良いキャリアデザインを描けるようになってほしい。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書教材	なし (適宜、プリントもしくはPDF データ等を用意します)				
授業計画	1 マネーリテラシー（社会人の収入と支出）	1 社会人基礎（ビジネスマナー）③			
	2 マネーリテラシー（社会保険）	2 社会人基礎（コンプライアンス）④			
	3 マネーリテラシー（経済と金融 基礎①）	3 ニュース・ディスカッション			
	4 マネーリテラシー（経済と金融 基礎②）	4 危機管理			
	5 アンガーマネジメント（基礎/自己理解）	5 マネーリテラシー（経済と金融 応用①）			
	6 アンガーマネジメント（他者理解/クレーム）	6 グループワーク①(ホスピタリティ)			
	7 メンタルヘルス（ストレスと心と体）	7 グループワーク②(仕事観・キャリア)			
	8 メンタルヘルス（多角的に感情を整理する）	8 グループワーク③(コンセンサスについて)			
	9 メンタルヘルス（三大幸福物質とコーピング）	9 マネーリテラシー（経済と金融 応用②）			
	10 社会人基礎①（新入社員について）	10 宴席でのマナー①			
	11 社会人基礎②（トラブル対応）	11 宴席でのマナー②			
	12 マネーリテラシー（経済と金融 基礎③）	12 社会人の休み・余暇の過ごし方②			
	13 社会人の休み・余暇の過ごし方①	13 マネーリテラシー（経済と金融 応用③）			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	手話講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科・観光科・鉄道科			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：飯塚 佳代・藤田 敦子				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：手話講師・手話通訳士			
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話やその他のコミュニケーション手段（指文字、読唇、筆談、表情、ジェスチャー、音声など）を体験し学ぶ。手話技能検定6級5級4級の単語を学ぶ。また、聴覚障がいのお客様に対して自信を持ってコミュニケーションがとれるように聴覚障がいの基礎知識（医学的、社会的、心理的、文化的な側面）を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚障がい者の多様性と手話について理解をする 2. 聴覚障がい者を取り巻く環境および問題点について理解をする 3. 手話やそれ以外の様々なコミュニケーション方法があることを知り体験する。 4. 手話や多様なコミュニケーション方法を用いて簡単な会話ができるようになる。 				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：手話技能検定5級				
教科書教材	手話技能検定公式テキスト5・6・7級（日本能率協会マネジメントセンター） 手話技能検定公式テキスト3・4級（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	1 手話とは①・指文字とは・聴覚障害者とは① 6級単語：あいさつ・自己紹介・反応・指文字	1 聴覚障害者と法律 5級単語：基本動詞②・文字総合復習・会話練習			
	2 手話とは②・手話の種類・聴覚障害者とは② 6級単語：学校名・天候・疑問・指文字	2 ろう文化とは 5級単語：基本動詞③・文字総合復習・会話練習			
	3 手話とは③ 6級単語：数字・曜日・時制・指文字	3 耳の構造と補聴器 5級単語：形容詞①・文字総合復習・会話練習			
	4 手話とは④・手話と聴覚障害の種類・人数 6級単語：人・家族・指文字・会話練習	4 聴力レベルと障害者手帳 5級単語：形容詞②・5級模試			
	5 接客手話とは・接客用語の手話 6級単語：色・方角・指文字・会話練習	5 電話リレーサービス 4級単語：都道府県①・指文字総合復習・会話練習			
	6 世界の手話・国際手話・デフリンピック 6級単語：感情・動作・指文字・会話練習	6 音声認識アプリ 4級単語：都道府県②・指文字総合復習・会話練習			
	7 多様なコミュニケーション① 6級総合復習・6級模試（指文字なし）	7 盲ろう者とコミュニケーション方法 4級単語：都道府県③・指文字総合復習・会話練習			
	8 多様なコミュニケーション② 5級単語：疑問と時間・指文字・会話練習	8 マークいろいろ 4級単語：人間・指文字総合復習・会話練習			
	9 多様なコミュニケーション③ 5級単語：自然・指文字・会話練習	9 聴覚障害者トピック 4級単語：食べ物・指文字総合復習・会話練習			
	10 多様なコミュニケーション④ 5級単語：家族・趣味・指文字・会話練習	10 聴覚障害者トピック 4級単語：動物・指文字総合復習・会話練習			
	11 多様なコミュニケーション⑤ 5級単語：程度・文字総合復習・会話練習	11 聴覚障害者トピック 4級単語：生活・指文字総合復習・会話練習			
	12 試験説明と復習 5級単語：基本動詞①・6級模試（指文字部分）	12 ゲストを迎える準備・スポーツ・趣味・質問練習			
	13 6級模試返却と解説・文字総合復習・会話練習	13 ゲストティーチャーとの交流・手話を使ってみる			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 65%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	鉄旅(SPT)			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：26時間
担当	講師名：中山 健也				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	実務経験内容：鉄道会社にて駅員、乗務員経験あり。			
授業概要	グループで旅行の企画・プレゼンテーションを行い、そして旅行企画が採用されれば実際にその旅行に行くSPT（Self Produce Travel）。これまで学んだ鉄道の知識、地理の知識をフルに活用し鉄道科ならではの旅行を組み立てよう。				
到達目標	グループワークを基として、自分たちならではの旅行を組み立てる。 また、人前で自分たちの企画を発表することにより自主性や相手の立場に立った行動（お客様目線）を理解し、業界で働く上での基礎とします。				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	特になし				
授業計画	1 授業概要説明、グループ分け				
	2 グループ行程表の作成①				
	3 グループ行程表の作成②				
	4 グループ行程表の作成③				
	5 グループ行程表の作成④				
	6 発表（行先・1日目の行程確定）				
	7 個人行程表の作成①				
	8 個人行程表の作成②				
	9 出発にあたり最終確認				
	10 現地実習				
	11 現地実習				
	12 現地実習				
	13 現地実習				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：出席率90%以上、グループワーク参加意欲大、平常点 優 B：出席率80%以上、グループワーク参加意欲中、平常点 良 C：出席率60%以上、グループワーク参加意欲小、平常点 可 D：出席率60%未満、グループワーク参加意欲無、平常点 不可				